



浜水高

図書館だより

浜田に近い話題の出版社 そうさん出版

浜田市は中国山地を隔てて広島県と接していますが、北広島町の芸北地区は浜田の中心部から車で30分程度のところにあります。そこに広島県で話題になっている芸北そうさんカフェがあり、その中に「世界一田舎にある出版社」と呼ばれるそうさん出版があります。そうさんカフェの植田紘栄志（ひさし）さんは、冒険起業家として有名な方で、スリランカに行かれて活躍された方です。

そのそうさん出版からこのたび、解剖学者で東京大学名誉教授の養老孟司（ようろうたけし）先生の著書『養老先生のさかさま人間学』が出版されました。養老先生はテレビにもよく出演され、『バカの壁』をはじめとする著書がたくさんある方です。養老先生の著書が浜田に近いところから出版されるのは特筆すべきです。『養老先生のさかさま人間学』を図書館にも置きますので是非とも読んでみてください。



さて、芸北そうさんカフェの船が水高のすぐ近くに船繋がりしています。その名も「第一そうさん丸」。実はこの「第一そうさん丸」は水高の海洋技術科の先生方が関係している船です。広島、いや全国で有名になった芸北そうさんカフェが水高と関係があるとはすごいことです。

右の本は、植田さんの著書と、同じく芸北で活躍されている井筒智彦さんの著書です。どちらも興味深い本で、これから海で活躍する皆さんには是非とも読んでほしい本です。

どちらも図書館に置いてあります。



ニュースを読む (島根の話題は全文、その他は前文(リード)のみ)

式典大幅縮小も会場一体 全国植樹祭 「御収穫」滞りなく
四大行幸啓 初のオンライン

国立公園・三瓶山で50年ぶりに開催された全国植樹祭は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で1年延期、天皇陛下の行幸啓(ぎょうこうけい)がオンラインに切り替わるなどこれまでにない大会となった。こうした中、半世紀前に昭和天皇が植樹したクロマツを陛下が切られる初めての「御収穫」は、島根県から全国に呼び掛ける「循環型林業」を象徴する場面として、全国に発信された。

26都道府県の招待者がオンライン参加となる異例の大会となったが、三瓶のスクリーンに、緑に包まれた東京・元赤坂の赤坂御用地や、天皇、皇后両陛下が映し出されると、会場が一体となった。

三瓶の式典会場となった北の原では、出席者は草原に置いた椅子で約2メートルの距離を取って着席。約1万人が会場につどった2年前の愛知大会とは異なる様相となったものの、丸山達也知事は「この状況下では最善だった。県民の努力あってこそだ」と強調した。

国体、国民文化祭、全国豊かな海づくり大会を含む「四大行幸啓」では初となるオンラインの手法を使い、半世紀前に植樹したクロマツを陛下が切られる初の「御収穫」も、赤坂御用地の荘厳な雰囲気の中で滞りなく行われ、丸山知事は「来県いただいた場合と遜色ない式典が開催できた」と述べた。

コロナがなければ、両陛下が会場で臨席されるはずだった「お野立所(のだてしょ)」は、今秋、市内に開業予定の道の駅「ごいせ仁摩」(大田市仁摩町大國)に展示する。(5.31 山陰中央新報)

9都道府県の緊急事態宣言延長を国会報告

西村康稔経済再生担当相は28日、衆院議院運営委員会に出席し、新型コロナウイルス緊急事態宣言を発令している9都道府県と、まん延防止等重点措置を適用している5県でそれぞれ期間を延長する方針を報告した。(5.28 山陰中央新報)

ワクチン全世代接種、早い自治体では7月上旬から

新型コロナウイルスのワクチンについて、厚生労働省は全国の自治体に、来月中旬には64歳以下に接種券を発送するよう求めた。早い自治体では7月上旬から、59歳以下の一般住民への接種が始まる。

ワクチンは原則、医療従事者、65歳以上の高齢者に続き、基礎疾患がある人と高齢者施設の従事者、60~64歳に優先的に打つ。59歳以下の人はその後、接種することになっている。ただ、厚労省は25日の自治体向け説明会で、高齢者への優先接種が完了しなくても、予約の空き状況などに応じ、それ以外の人に順次、接種を進めることを認めた。(5.25 読売新聞)